

土着天敵のニホンアブラバチを利用する ワタアブラムシ対策

園芸環境部 虫害チーム TEL:022-383-8123

研究の目的

2002年の農薬取締法の改正により特定防除資材（特定農薬）として「使用する場所と同一の都道府県で採取された天敵」が指定されました。

ワタアブラムシやモモアカアブラムシなどの天敵であるニホンアブラバチは、セイヨウキツタ（通称アイビー）に寄生しているキツタクロアブラムシにも高率に寄生します。

そこで、ニホンアブラバチの大量入手法と寄生活動を検討しました。

研究成果

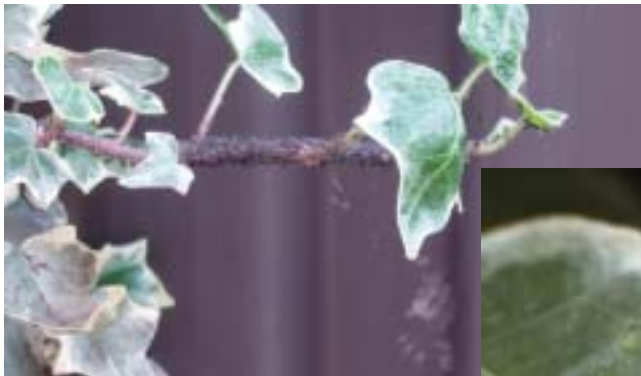


図1 キツタクロアブラムシの寄生状況（一年中寄生します）



図2 ニホンアブラバチのマミー

図3 ニホンアブラバチ成虫

- 1) ニホンアブラバチのマミー（寄生蜂の幼虫が蛹になるため、アブラムシの外皮が硬化し丸くなったもの）を枝ごと切り取り，防除しようとするワタアブラムシの寄生株付近に設置します。
- 2) ニホンアブラバチのマミーは，キツタクロアブラムシが増加した後約2週間目に目立ち始めるので，マミー採集の目安にします。
- 3) ニホンアブラバチは，これまでにメロン，ナス，イチゴ，キクの植物体上での寄生活動が確認されましたが，アブラナ科植物上では活動しません。
- 4) キツタクロアブラムシは，農作物に被害を及ぼす恐れはほとんどありません。
- 5) ワタアブラムシに対しては，ニホンアブラバチによる寄生のほかに，同時に着生しているヒラタアブ類幼虫，テントウムシ類，クモ類による捕食も期待できます。

普及等の見込

ニホンアブラバチを特定防除資材として，さらに工夫次第では，アイビーをコンパニオンプラントやバンカープラントとして，ワタアブラムシ対策に利用することが期待されます。アイビーを自分で育てれば，費用はほとんどかかりません。

宮城県
農業・園芸総合研究所

宮城県名取市高館川上字東金剛寺1番地
TEL: 022-383-8111(代表) FAX: 022-383-9907(代表)
ホームページ: http://www.pref.miyagi.jp/res_center/
E-mail: marc-fk@pref.miyagi.jp(代表)

